

令和6年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1	学年	1	類型	
教科書	現代高等保健体育改訂版(大修館書店)			副教材	現代高等保健体育ノート改訂版(大修館書店)				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点	
				知	思	主		
1 学期	4	オリエンテーション	保健の授業とは	◎	○		学習のねらい 個人および社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うなど、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。	
		1単元 現代社会と健康 01 健康の考え方と成り立ち	1 健康についての多様な考え方 2 健康の成り立ちとその要因	◎	○			
		02 私たちの健康のすがた	1 わが国における健康水準の向上 2 わが国における健康問題の変化	○	◎			
	5	03 生活習慣病の予防と回復	1 生活習慣病とその課題 2 予防から回復まで	◎		○		
		04 がんの原因と予防	1 がんとその種類 2 がんの予防			○ ◎		
		05 がんの治療と回復	1 がんの治療と緩和ケア 2 がんとともに生きる社会づくり			○ ◎		
	6	06 運動と健康	1 健康からみた運動の定義 2 健康によい運動のしかた			○ ◎		
		07 食事と健康	1 健康的な食生活の意義 2 健康によい食事のとり方			○ ◎		
08 休養・睡眠と健康		1 健康からみた休養の意義 2 健康からみた睡眠の意義			○ ◎			
			期末考査	◎	◎			
7								
2 学期	8	09 喫煙と健康	1 喫煙の影響 2 喫煙への対策	◎	○		生涯の各段階においては、健康にかかわるさまざまな課題や特徴がある。生涯にわたって健康に生きていくためには、生涯の各段階と健康とのかかわりを踏まえて、適切な意思決定や行動選択および社会環境づくりが不可欠であることを理解するとともに、生涯の各段階や労働における健康課題の解決に向けて思考・判断・表現できるようにする。健康の保持増進には、個人のみだけでなく、個人を取り巻く自然環境や社会の制度、活動などが深くかかわっている。したがって、すべての人が健康に生きていくためには、環境を整備しそれを活用する上で、課題を発見し、その解決をめざした活動を通して、環境と健康、食品と健康、保健・医療制度および地域の保健・医療サービス、さまざまな保健活動や社会的対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて、理解を深めるとともに、これらの課題の解決に向けて思考・判断・表現することができるようにする。	
		10 飲酒と健康	1 飲酒の影響 2 飲酒への対策			◎ ○		
		11 薬物乱用と健康	1 薬物乱用の影響 2 薬物乱用の要因と対策			○ ◎		
		12 精神疾患の特徴	1 精神疾患の要因と種類 2 精神保健の今日的課題			○ ◎		
	9							
	10							
13 精神疾患の予防		1 日常生活における精神疾患の予防 2 精神疾患の早期発見・早期治療			◎ ○			
14 精神疾患からの回復		1 専門家による支援と治療	◎		○			
11	15 現代の感染症	1 感染症とは 2 さまざまな感染症	◎		○			
	16 感染症の予防	1 感染症予防の3原則 2 現代の感染症対策			○ ◎			
	17 性感染症・エイズとその予防	1 性感染症・エイズとは	◎					
			期末考査	◎	◎			
12	17 性感染症・エイズとその予防	2 性感染症・エイズの予防			○ ◎			
3 学期	1	18 健康に関する意思決定・行動選択	1 意思決定・行動選択を実現する工夫 2 意思決定・行動選択とそれに影響を与える要因			○ ◎	現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて、主体的にねばり強く学習に取り組もうとしている。	
		19 健康に関する環境づくり	1 健康を保持増進するための環境 2 ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくり			○ ◎		
		2単元 安全な社会生活 01 自己の現状と発生要因	1 事故とその被害 2 事故の発生に関連する要因	◎		○		
		02 安全な社会の形成	1 自他の安全を確保する行動 2 安全を確保する社会の取り組み			○ ◎		
	2	03 交通における安全	1 交通事故防止のための取り組み 2 交通事故と運転者の責任			○ ◎		
		04 応急手当の意義とその基本	1 応急手当の意義 2 応急手当の手順			○ ◎		
		05 日常的な応急手当	1 けがに応じた応急手当 2 熱中症の応急手当	◎		○		
				学年末考査	◎	◎		
	3	06 心肺蘇生法	1 心肺蘇生法の意義と方法			○ ◎		
		保健編用語解説	1 年間のまとめ			○ ○		

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【保健の特色】

- 保健は、他の教科よりもある意味で将来よく役に立つ科目です。社会生活を送る上での基本的な知識が身に付きます。
- 保健を学習することで、今後自分たちがどのように生活していかなければならないかを理解し、適切な選を行い、行動することができるようになることが目標です。
- 2年時では年齢とともに変化していく私たちの心と体について理解を深めるとともに、私たちの健康を支えている保健・医療のしくみや活用のしかた、また、健康に関連する環境・食品の問題や、労働と健康の関係などについても学びます。

【授業】

- 週に1時間の授業があります。
- ノートは、板書に加えて、口頭で示された重要ポイントも記しておく、復習する時に役立ちます。
- 練習問題を必ず自分で解くことが、新しい知識を身に付けることにつながります。

【家庭学習】

- 健康に関するニュース、新聞記事などに興味をもち、情報を取り込みましょう。
- 前日に少しでも前回の復習をしておく、授業内容を理解する度合いが違ってきます。

【定期考査】

- 教科書・ノート・練習問題・口頭で示したポイント等から出題します。
- 考査範囲全体を漫然と学習するよりも、重点的に学習する部分を絞ったほうが効果的です。

◆評価の方法、基準

評価の方法	①定期考査の成績 ②授業への取り組みのようす ③実習等での取り組みのようす ④ノート・レポートの提出状況	
評価の基準	1 学 期	・評価の観点、知 知識・技能、思 思考・判断・表現、主 主体的に学習に取り組む態度の3つの観点で総合的に評価します。 ・出席状況、授業態度、教科書の読み、発表、ノートの整理状況、課題の提出状況、定期考査をもとに総合的に評価します。
	2 学 期	・評価の観点、知 知識・技能、思 思考・判断・表現、主 主体的に学習に取り組む態度の3つの観点で総合的に評価します。 ・出席状況、授業態度、教科書の読み、発表、ノートの整理状況、課題の提出状況、定期考査をもとに総合的に評価します。
	3 学 期	・評価の観点、知 知識・技能、思 思考・判断・表現、主 主体的に学習に取り組む態度の3つの観点で総合的に評価します。 ・出席状況、授業態度、教科書の読み、発表、ノートの整理状況、課題の提出状況、定期考査をもとに総合的に評価します。
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績の平均